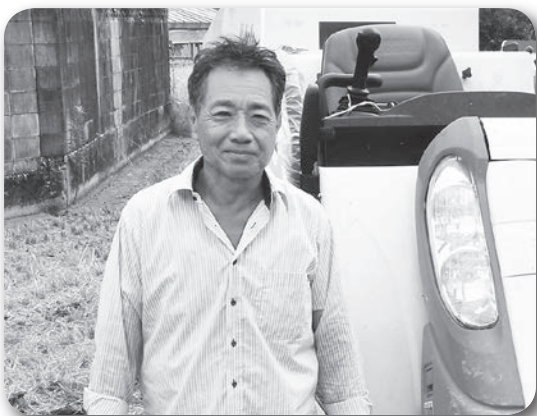


地元から農業高校を卒業後、18歳の頃から農業をしています。小学校から手伝っていたので、高校を卒業する頃には、農作業には手慣れていた。よその田んぼも、作業受託をしています。刈取りのみや、田植えのみのものもありますが、全部受託しているものもあります。地元



趣味は
釣りと旅行！

しまのうち ひさお
島内 久夫 さん
(物部)

に
こ
に
こ
ラ
イ
フ

200



の顔見知りなので断るに断れんです。趣味は釣りをやっていた。5年ほど前に船が流されて、ここ何年かは行けていません。釣りを始めた頃は手作りの船で、手漕ぎで沖へ出て、アジが入れ食い釣れたのを覚えていますが、だいたい沖の方へ出たと思っていました。後で聞くところ、近くの方で釣っていたそうです。その後、手作りの船が台風で流れてしまったので、ちゃんとした船を買って、免許もとりました。クジラやイルカも見ましたが、大きいものがおるときは魚が釣れませんが、釣っていたのはアジ、サバ、タイ、チヌなどで、高知新港ができる前はなんぼでも釣れていました。

釣り以外ではよく旅行へ行きました。高速道路が安いときに大阪、名古屋、神奈川、富士山など全部日帰りで行きました。富士山では駐車場から20mくらい上っただけで、8月にも関わらず雪があったのを覚えています。

今後の目標は、船を買って釣りへ行くことです。また大きな目標として、自分の小屋を建てることです。今ある仕事用のほったて小屋とは別に、自分の好きなようにできる小屋を建てたいですが、仕事が増え、なかなかそこまで手が回らなです。

性格は大らかできつつきつしていないので、取材でも心地よく回答してくれていました！

市民からのお便り

(親子クイズ) 当たりますようにお願いします。

親子クイズ 544

Q 下記の写真は岡豊山の本丸跡に期間限定で建てられた、望み櫓です。香長平野が一望できる、この場所から四国平定の野望を実現しようとした、戦国武将の名前をフルネームで教えてください。



■応募締切／9月11日(月)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

【第543回解答】

1位 ニラ
2位 シシトウ
3位 オクラ

【第543回当選者】

北川 桃圭	(大堀甲)
今西 基	(大堀甲)
須江 海斗	(大堀乙)
長崎 誠	(緑ヶ丘)
竹村 節代	(香美市)

★応募総数／22通 ★正解率／82%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り

(親子クイズ) 南国市は野菜も素晴らしいけど、やっぱりシヤモもはずせいですね！

ふれあい つながって 78 人権学習シリーズ

徹夜を覚悟すれば何とかかなる、と思っていたことが、一晩では片が付かず、翌日までかかることが増えてきた。加齢に伴う体力の衰え、ということもあるが、夜遅くに仕事をしていると、疲れがたまり、もつと丁寧な、とか、もつと深く、ということがなかなかできない。十分な睡眠が取れなかった翌日は、頭痛がしたり、やる気が出なかったりし、仕事がかどらずに一日を棒に振ることとなり、きちんとした睡眠をとり仕事をしないといけない、と真剣に思うようになってきた。

自分の工夫で時間を調整できる場合には、自分で自覚して、実行すればよい。しかし、仕事の関係でどうしてもそうした時間を生み出せない場合もある。現実にはそういう悩みを抱えている人が多いのではないだろうか？

私もどうしても時間の都合がつかず、睡眠を削って帳尻を合わせる事がある。「過労自殺」の報道を見ると、仕事環境が厳しく、十分な睡眠どころではない働き方をしている人がかなりいると思われる。また、そうした状態が長く続いている人も少なくないようである。健康や命を奪うほどの労働、というのは大きな人権問題のひとつ。

健やかな毎日を送るために

つではないだろうか。日本では「早寝早起き」が健康や勤勉の理想とされてきた。しかし、こしばらしくはこの言葉があまり使われなくなった。昼夜を問わず、色々なことができるようになったが、健康は置き去りにされている気がする。

「睡眠負債」という言葉を聞く。睡眠不足の蓄積により、病気のリスクが高まり、活動実績を低下させる、というものである。対人関係においても睡眠不足等でイライラしていると、その影響が出ることもあるのではないだろうか。

学校に通う児童生徒、子育て中の、人、介護をしている人、仕事のあるなしに関わらず、皆が十分寝て、すっきり目覚められる日が来れば、トラブルの種は育ちにくいと思われる。そういう日が一日も早く来るよう希望する。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

なんこく歴史散歩 第56回

池知重利は天保2(1831)年8月18日に西野地村(長岡)の郷土の家に生まれました。重利は嘉永4(1851)年に3代目團助の跡を継ぎました。

若い頃から文武にすぐれ、土佐勤王党結成とともにその一員として活躍しました。文久2(1862)年12月江戸に赴き志士と交流し、また藩主山内容堂に従って京都に上り、機密を扱う御用係を申しつかつて諸藩の動きを探る役目も果たしました。

しかし、文久3(1863)年9月21日、土佐勤王党への弾圧がはじまり、行動を共にする同志が相次いで投獄されると、「勤王党の獄」が起きます。そのため重利たちは武市半平太ら勤王党の人達の釈放を願い活動しますが、叶えられませんでした。

重利は中岡慎太郎と意気合い、陸援隊で活躍し、慶応3(1867)年11月15日、坂本龍馬、中岡慎太郎の両雄が暗殺された後も、その意志



顕彰碑(長岡)

幕末維新の南国 一池知重利と猿田彦神社一

を継いで活動しました。また、戊辰戦争では、断金隊長となつて東北の地で武勲をたてました。

その時の品が長岡にある猿田彦神社に2点伝わっています。

一つ目は陣貝で、重利が会津城を攻め落とした時、城の天守閣に吊してあったものを押収して、凱旋した時に寄進したものといわれています。徳川家の定紋「三葉葵」の蒔絵があり、入念な絹の網袋に納められています。

2つ目は刀で、備州住持貞(真)の銘をもつものです。この刀工については備州(現在の岡山県)の刀工という以外には不明な点が多いですが、永正から文禄(1504-1595年)にかけての刀工のひとりと考えられています。勤王党志士池知重利の東征の記念であり、維新戦争に使用したものと考えられ、当時のま刀身、拵が残されている貴重な品です。



陣貝と刀

■問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎880・6569